

2025年3月期 期末株主通信

2024年4月1日▶2025年3月31日

19期

COPRO REPORT

TOPICS 01

「採用」と「定着」戦略のサクセス・ロードマップ

新たな目標！

売上高470億円への道



株式会社コプロ・ホールディングス
(証券コード:7059)



計画を上回る業績でも まだまだ満足はしません。 さらなるステップアップを狙い 走り抜けます！

代表取締役社長 清川 甲介

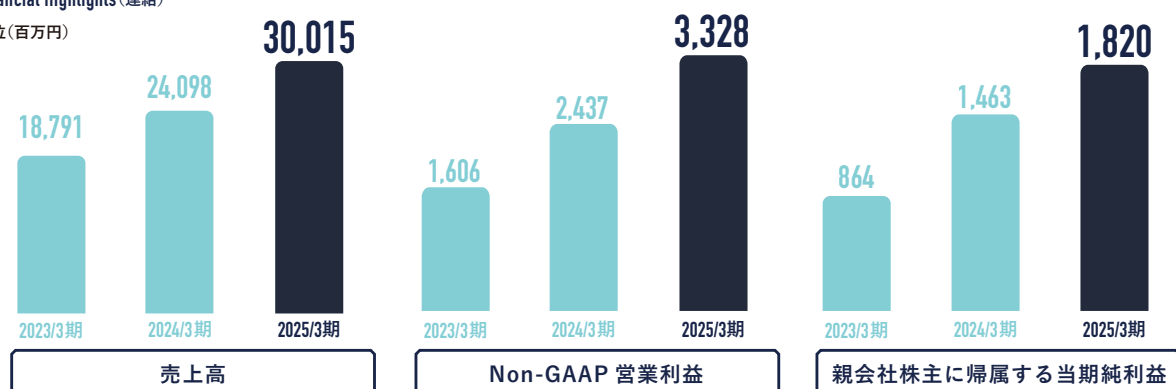
TOP INTERVIEW

営業力と採用力の向上により 業績は堅調に推移

2025年3月期の業績は想定通りに推移しました。好調の理由は、当社のコアビジネスである建設領域が圧倒的に大きく貢献してくれたことです。少子高齢化や時間外労働の上限規制による人材不足を背景に、今後も需要はますます伸びていきますし、当社はその需要に応えなければなりません。そのため2022年に発表した中期経営計画では、毎年

約20%の増収という目標を掲げました。当初は高い目標のように感じられましたが、営業改革や採用プロセスの見直しを徹底してきたことで、過去3年間の業績は計画を上回るペースで推移しています。そして、2025年5月には、中期経営計画の上方修正を発表することができました。新たに掲げた2027年3月期の売上高目標は、470億円です。これは当初の目標から70億円のプラスとなりますが、昨今の外部環境を踏まえても決して高すぎる数字ではないと考えています。すでに結果が出てきている営業力・採用力の強化に

Financial Highlights (連結)
単位(百万円)



加え、今後は定着率の改善により注力することで、新たな目標を実現します。

建設領域の営業本部を東京に移転。 業界1位へのマイルストーンに

2025年4月には、コプロコンストラクションの営業本部を名古屋から東京へ移転しました。国内の建設投資市場は関東が3分の1以上を占めており、私たちの目標である業界No.1を実現するには、まずは関東エリアでNo.1にならなくてはなりません。採用部門やマーケティング部門で力のある人材を東京へ集め、先を走るトップ企業に一刻も早く追いつき、追い越そうと考えています。さらに、建設技術者向けの研修センターを品川に開設しました。この研修センターでは、建設現場の鉄骨、鉄筋、型枠を設置し、より実際の現場に近い環境を重視しています。未経験の技術者にあらかじめ現場の雰囲気を感じてもらおうことで、就業前後のギャップをなくし、定着率の改善につなげたいと考えています。

テクノロジー領域は伸び代に期待。 建設領域のノウハウを横展開

IT・機電・半導体技術者派遣は営業力や採用力の課題が明らかとなった一年でした。外部環境としては建設領域と同様に、人材ニーズが増加しています。つまり、適した戦略をしっかりと立案し、実行していけば、高い目標を達成できるポ

テンシャルは十分にあるということです。今後、建設領域で成果が出ている戦略をIT・機電・半導体領域でも展開しながら、大型案件の獲得に注力していきます。育成の面では、半導体技術者向けの研修センター「セミコンテクノラボ」(P.05)によって高い定着率を実現しています。ですが、1カ月間の研修で輩出している技術者の数は、需要に対してまだまだ追いついていません。市場のニーズに応えられる技術者をより多く送り出せるよう、研修の効率向上も含めて、引き続き人材育成プロセスの最適化を図っていきます。

長期的な需要増加を見据え さらなる高みへ

中期経営計画が始動した2023年3月期から毎年、目標を着実に達成してきました。当初2027年3月期の売上高目標としてきた400億円という数字が今、現実味を帯びて迫りつつあります。私が建設業界で営業を始めてからのおよそ25年間で、現場における派遣人材の割合は急伸しました。今や人材派遣は建設業界にとって、なくてはならないビジネスモデルです。そしてこの先も、人材派遣の需要は右肩上がりが高まり続けると確信しています。このような外部環境を追い風として、新たな目標である売上高470億円という数字を当社がどのように実現していくか、ぜひご期待ください。さらには上場後第2弾となる2028年3月期以降の次期中期経営計画の発表を、株主の皆さまには楽しみにしていただきたいと思います。

2026年3月期 年間配当(予想)

1株当たり80.0円

- ・中間配当30.0円
- ・期末配当50.0円

前期比
20円増配

▶ 配当方針

経営上の重要課題の一つである株主還元においては、配当を基本に考えています。中期経営計画(2023年3月期～2027年3月期)の対象期間は減配せず、連結配当性向50%以上を目処としながら、積極的な投資による利益成長に応じた安定的な配当を基本方針とします。

▶ 2026年3月期の配当について

配当方針に基づき、2025年3月期末は1株当たり40円(前期比5円増配)の配当を行いました。年間配当は中間配当20円と合わせて、前期比10円増配の60円です。2026年3月期においては1株当たり20円増配し、年間80円(連結配当性向61.7%)を予想しております。当社は今後も利益成長に応じた株主還元を継続します。

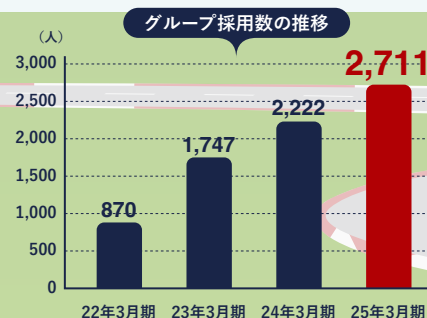
2023

中期経営計画
Build the Future 2027
START

リニアや半導体工場
の新設、街の再開発関連工
事など、数々の大型プロジェク
トが動く建設業界。安定的な人
財供給体制の構築が急がれ
るなか、5カ年の中計を
スタート!

コプロの採用改革始動! 採用数拡大に向けて積極投資

コアビジネスである建設技術者派遣事業を中心に、採用費を積極的に投入。採用プロセスにおいても「選ぶ採用ではなく、採る採用」を掲げた結果、2025年3月期のグループ採用数は、2022年3月期(870人)から3.1倍の2,711人に拡大しました。

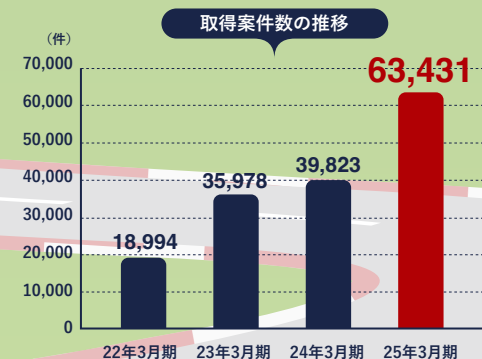


ミスマッチを解消せよ! 働きやすい環境を整え定着率改善へ

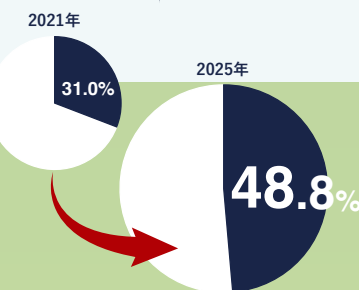
採用数の増加に伴い、配属のミスマッチが発生。安心して長く働けるよう、配属先企業への深耕営業や配属後のフォロー活動を強化しました。

【建設技術者派遣における取り組み】

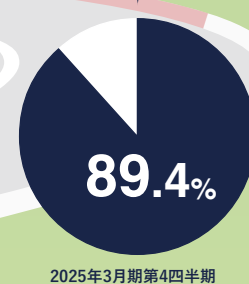
- 未経験の技術者でも働きやすいターゲット企業の比率を高め、労働環境を向上
- 複数の技術者を同一現場に配属することで、技術者同士のつながりを強化
- 取得案件数の増加により現場の選択肢が広がったことで、より技術者の希望に合った働き方が可能に



チーム・セット派遣比率



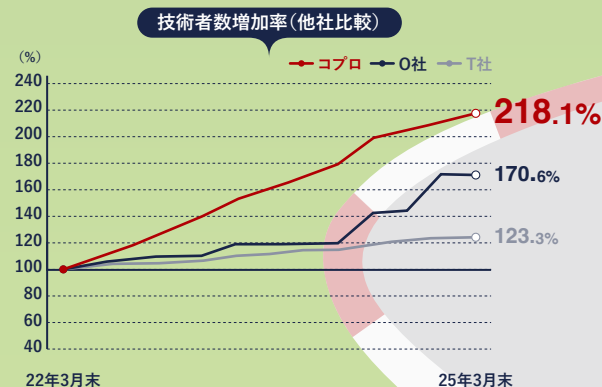
ターゲット企業配属率



採用の勢いが止まらない!

コプロの技術者数増加率がついに業界トップに!!

さまざまな人財戦略が功を奏し、競合他社との比較で、建設技術者派遣における在籍技術者数の伸び率はコプロが1位に。



2026

2025年5月1日時点でのグループ技術者数が5,000人を突破! 中計ゴールの2027年まで、勢いにますます拍車がかかる!

2025

2024年問題を追い風に、コプロはグループ技術者数、売上高、営業利益などで過去最高を更新中。成長投資を継続しながらより一層の規模拡大へ!

エンジニア応援プラットフォームで 「最高の働き方」の実現を支援!

エンジニア応援プラットフォームは、技術者がキャリアを形成するための道筋を見える化し、ステップアップをサポートする仕組み。配属後のフォローだけでなく、配属前の教育体制の構築にも力を注いでいます。2025年4月には、東京都の品川に対面型の研修センターを開設しました。実習とコミュニケーションを重視した研修内容により、現場に対する不安を払拭するとともに、技術者同士のつながりも深めます。

「採用」と「定着」戦略のサクセス・ロードマップ

新たな目標! 売上高470億円への道

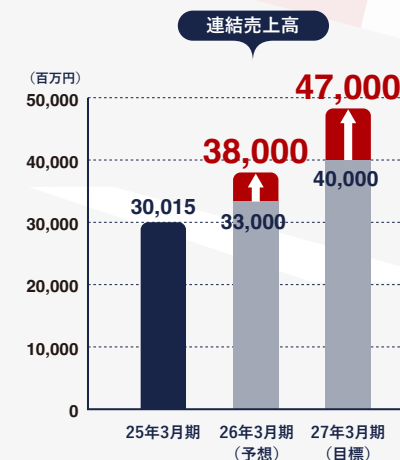
需要が高まる外部環境を追い風に、人財戦略が功を奏して中期経営計画の上方修正を発表。

当社は業界No.1企業を目指して、引き続き業績拡大を加速します!!

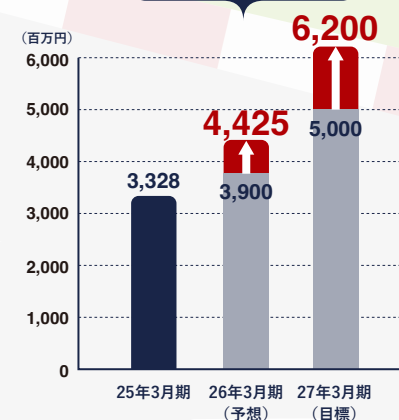
2027

中期経営計画
Build the Future 2027
GOAL

中期経営計画を大幅に上方修正!



Non-GAAP営業利益



中期経営計画の最終年度となる2027年3月期の目標は、連結売上高470億円(当初目標比+70億円)、Non-GAAP営業利益62億円(当初目標比+12億円)に上方修正しました。

目指せ
高スキル人材！



コプロの半導体技術者研修センターが 「辞めないエンジニア」を多数輩出している秘訣は？

人材不足が深刻化している半導体業界。そのなかで、コプロテクノロジーの研修センター「セミコンテクノラボ」を卒業したエンジニアは、約9割が定着しています。

テクノロジーの発展に伴い、半導体需要は世界的に増加傾向にあり、今後も市場の拡大が続くと予測されています。日本においても経済安全保障リスクの低減に向けて、半導体の国産化が進んでいますが、サプライチェーンに関わる人材は不足しているのが現状です。この課題に応えるため、コプロテクノロジーは2024年2月に、研修センター「セミコンテクノラボ」を開設しました。

セミコンテクノラボは未経験者を対象に、「辞めないエンジニア」の育成を掲げています。人材の定着率を高めるには、技術をインプットするだけでなく、現場で役立つコミュニケーション能力を習得することが不可欠。そうした考えから本施設では、働く上での心構えやあいさつなどをはじめとした、人間力向上のための研修を重視しています。

その結果、本施設の研修を修了したエンジニアの定着率は約9割と良好な結果となっています。今後は2026年3月期に年間約150人、2027年3月期には年間約300人のエンジニアを育成する計画です。

セミコンテクノラボ

所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜1-2-1
新横浜ファーストビル1階

開所日：2024年2月1日

研修対象：半導体関連産業に従事したことのない未経験者

研修期間：1ヵ月間

座学



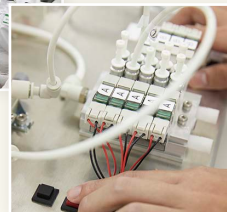
座学研修中も講師からの問いかけがあり、研修生が主体的に参加できる活発な雰囲気。20代の研修生が多く、社会人としての基礎から学びます。

実践研修



半導体の製造ラインで使用する装置を設置しており、研修生は現場と同等レベルの体験を通して、実技能力を身に付けられます。

装置に内蔵されている部品に触れ、その扱い方を習得します。

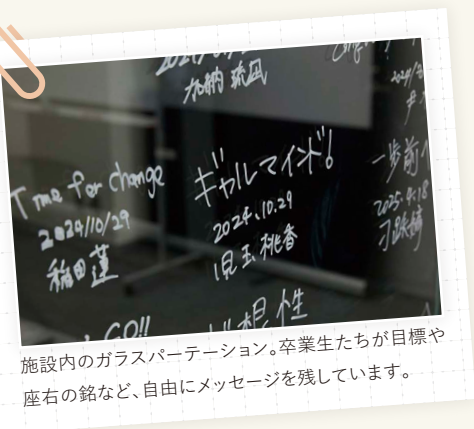


グループワーク



チームワークが肝心！

電子回路の組み立て作業を共同で行うことで、仲間意識やコミュニケーション能力の育成を目指します。



施設内のガラスパーテーション。卒業生たちが目標や座右の銘など、自由にメッセージを残しています。



半導体製造」に答えるプロ、コプロ

コプロで活躍する社員が登場し、いろんな質問に答えるコーナー。
志事への思いや働きがい伝えます。

Profile

早川 正成 さん

2025年2月入社

#03 Masanari Hayakawa

コプロ内でも派遣先でも密に連携
チーム力で高品質な半導体を提供

エンジニアに聞く
9の質問

Q.1 コプロに入社した理由は？

半導体業界からしばらく離れていたのですが、やはり好きな志事をしたいと思い、手厚い研修のあるコプロに入社しました。

Q.2 入社後の研修の感想は？

「セミコンテクノラボ」の研修では社会人としてのマインドを学び直せたほか、情報を共有できる同期の存在を心強く感じました。

Q.3 コプロと他社との違いは？

研修でお世話になった講師の方が、現場に入ってから気にかけて連絡してくれます。前職の会社では経験のないことでした。

Q.4 志事のやりがいは？

半導体製造装置を立ち上げる際は、3〜4ヵ月ほどかけて細かな調整を行います。ミリ単位の繊細な作業が成功すると嬉しいですね。

Q.5 志事を通しての成長は？

困ったことがあったときに自分で調べる問題解決力や、自分自身の裁量で志事のスケジュールを組む管理能力が身に付きました。

Q.6 大変なことは？

作業の手順書は英語で書かれている場合が多く、スマートフォンを使用できない現場もあるため、単語を覚えて読み解いています。

Q.7 現場はどんな雰囲気？

半導体工場では、いろいろな会社の方が働いています。しっかりと連携できるよう、緊密にコミュニケーションを取っています。

Q.8 志事で心掛けていることは？

製品は私たちの扱う装置から次の工程へと流れていきますが、最終製品を扱うつもりで、慎重なメンテナンスを心掛けています。

Q.9 今後の目標は？

まずは私自身が派遣先で信頼を得て、コプロを売り込むこと。そうして人を増やすことができれば、志事の幅も広がると思います。

東京・品川に研修センターを開設！

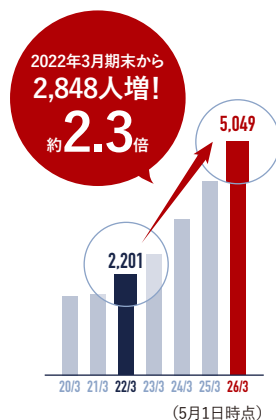
2025年4月、東京・品川に対面で行う建設技術者向けの研修センターを開設しました。座学のみでなく実物を用いての研修内容であるため、より業務理解を深めることができます。同時に、現場で必要となるコミュニケーション能力の向上も図っています。未経験者の第一歩を支える施設として、体制を構築していきます。



コプロ・グループ技術者数5,000人突破！

主力事業である建設技術者派遣事業において、2023年3月期から取り組みを開始した採用改革が奏功し、業界平均をアウトパフォームする技術者数の増加率を達成しています。この結果、2025年5月1日時点の在籍技術者数はグループ合計で5,049人となり、2022年3月期末から約2.3倍という大幅な増加を記録しました。

2026年3月期以降は、社内の営業および採用活動のプロセス強化への取り組みを継続するほか、2025年4月に東京・品川に開設した研修センターをはじめとした教育研修の強化を通じた人財の定着を推進し、さらなる技術者数の拡大を目指していきます。

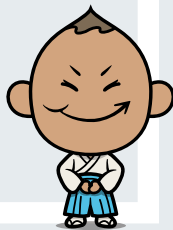


COPRO'S MINI COLUMN #04

歴史を感じるパワースポット

熱田神宮

織田信長が必勝祈願したとされる「熱田神宮」は、名古屋でも屈指のパワースポット。緑に囲まれた境内は荘厳な雰囲気になっており、コプロもエネルギーチャージのために訪れます。



IR CALENDAR 2025

8月12日 ▶ 第1四半期決算発表

11月中旬 ▶ 第2四半期決算発表

Contact／お問い合わせ

● IR・企業情報に関するご質問

株式会社コプロ・ホールディングス

経営企画室 経営企画課

☎ 0120-253-066(フリーダイヤル)

📍 愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12

大名古屋ビルディング25階

● 株式取引・配当金振込等に関するご質問

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部

☎ 0120-232-711(フリーダイヤル)

📍 東京都府中市日鋼町1-1



IRに関するWebサイトもご覧ください

